

学校教育目標	たくましく生き抜いていく子ども 心身ともに健康で、豊かな心情をもち、自分の言葉で語る実践力のあるたくましい子どもを育成します。 知：自ら見つけ、自ら考え、学んだことを実生活に生かす力を育てます。 徳：自らを律しつつ、他人と協調し、思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育てます。 体：たくましく生きるための健康や体力などを育てます。 公：規範意識をもち、人間関係力の育成を図ります。 開：日本および横浜の歴史と伝統文化を尊重する心の育成を図ります。					
	学校概要	創立 84 周年	学校長 鈴木秀一	副校長 望月重晴	2 学期制	一般学級：23 個別支援学級：4
児童生徒数： 743 人 主な関係校： 神奈川中学校 大口台小学校						

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「課題解決力」(知・体) 「自尊感情(自己肯定感・自己有用感)」(徳) 「コミュニケーション力」(公・開)	神奈川中学校 大口台小学校 白幡小学校	たくましく社会を生き抜いていく子ども ・どの教科でも生かせる汎用的能力を身につけさせるために、授業を通して子どもの姿で語り学び合う小中合同授業研究会を実践する。 ・小中合同研修を通して、ブロックで育成を目指す資質・能力に関する見取りや児童生徒指導間の共有を図る。 ・小中交流や地域行事への参加や交流を通して、まちとともに育つ経験を豊かにする。

中期取組目標	○すべての子どもに学力(学ぶ意欲と考える力)と人間関係力(協働して学び合い高め合う力)を付け、地域とともに歩む学校にします。 ・日々の授業を通して、学習課題を設定する力、見通しをもって解決していこうとする力、自分の考えを分かりやすく論理的に説明する力を育て、確かな学力を図ります。 ・教科等を横断する汎用的なスキルにかかわる力を育てます。 ・得た知識を活用する自主的学習力をつけ、読書好きの子どもにします。 ・人とかかわることで、相手意識をもった行動の取れる態度や考え方を身につかせます。 ・一人ひとりが自己肯定感をもち、自信をもって地域とかかわり、豊かな体験を通して白幡のまちを愛する心を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①学校教育目標とそれを具体化した「目指す子どもの姿」を具現化するために、教科等横断的な資質・能力と教科等固有の資質・能力を明確にし、授業実践・カリキュラム開発・カリキュラム改善を行う。 ②子ども自ら発見した問題を解決する方法を自己選択・自己決定しながら学ぶ続ける授業づくりを行う。
豊かな心	①児童と教職員とPTAによる安心安全委員会で、いじめを未然に防ぐための方策について考え、日常化を図り、保護者や地域へと発信する。②道徳と各教科領域の関連をより一層図り、児童や学級の実態に合わせて、「自分ごと」として課題を解決することを通して主体的な価値の自覚ができるような道徳の授業を実践する。
健やかな体	①縄跳びや持久走などを体育の年間カリキュラムに位置づけ、意図的計画的な指導による運動意欲の向上を図る。 ②2か月に1度、保護者の協力のもと、よりよい生活習慣を目指す「元気アップチャレンジ週間」を継続し、生活習慣の改善を図る。
未来を開く志	①昨年に引き続き、SDGs(持続可能な開発目標)について中学校ブロックで研修を行い、教職員の知識を深め、SDGsを特別なものとしてなく、「自分ごと」として捉えて教科指導や学校での様々な活動で浸透が図れるよう行動する。 ②校内にSDGs(持続可能な開発目標)についての掲示をし、児童への周知を図る。
地域連携・学校運営協議会	①「白幡いちよの会」による土曜塾で、教員がボランティアに助言をし、同じスタンスで児童にかかわるようにする。②商店街などで調べ学習に取り組んだり、サマースクールや読み聞かせや花植え隊などの地域人材を活用した学習を充実させたりする。③学校運営協議会を生かし教育活動の実践・改善を行う。
いじめへの対応	①月1回いじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認・配慮が必要な児童の情報交換・いじめを許さない雰囲気づくりについて全職員で確認する。②年2回の児童アンケートと児童面談により、児童の些細な変化を見逃さない体制をつくる。③児童・職員・地域の参加する「安心安全対策委員会」において、子ども自身が学校生活を振り返り、いじめの問題解決に向けて児童が主体的に考え、未然防止につなげる。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①4部会にミドルリーダーを配置し、主幹のサポート体制をとることで、組織マネジメントの意識を高め、人材育成を図る。②個人で強化目標を設定して掲示し、PDCAをくり返し継続的に取り組み、メンターのレベルアップを図る。③グループウェア(ミライム、LINE WORKS等)を活用して、情報の共有化を図るとともに、会議の精選、事務の簡易化、効率化を図り、働き方改革につなげる。